

どう考える？

被ばくを避ける権利、 被災地の「復興」

2013年 **12月15日**(日) 14時～17時

場所：アミダステーション (延立寺別院)

(八王子駅北口徒歩5分・地図裏面)

参加費：無料



原発事故は、人びとに深刻な葛藤やむずかしい選択を押しつけました。2年9カ月を経てもなお、選択の負担を強いられ続ける暮らしがあります。中でも心配なのは、「被ばくを避ける権利」と「復興」のあいだに生まれた不幸な対立です。ここにある葛藤や苦悩のすべてが、事故の被害そのものです。取り返しのつかない被害の大きさに、それでも立ち向かうために——。原子力市民委員会の議論と「中間報告」を参考に、東京に暮らす私たち自身がどのような道筋で「原発ゼロ社会」を実現するのか。みんなで悩み、被害を受けた地域への理解を深めませんか。みなさまのご参加をお待ちしています。

～プログラム～

- ・ 14:00～ 福島子ども支援八王子 挨拶
- ・ 14:10～ 「原子力市民委員会が考える『原発ゼロ社会への道』」

奈良本英佑さん

(原子力市民委員会 公論形成支援チーム・福島子ども支援八王子スタッフ)

- ・ 14:30～ 「福島原発事故と人間の復興」

荒木田岳さん

(福島大学行政学類准教授、原子力市民委員会 委員、福島原発事故部会メンバー)

- ・ 15:30～ 質疑応答
- ・ 15:50～ 休憩
- ・ 16:00～ **意見交換**

当日は原子力市民委員会・原発ゼロ社会への道「新しい公論形成のための中間報告」を1部200円で販売します。原子力市民委員会のWEB (<http://www.ccnejapan.com/>) からダウンロードできますので、できれば事前に(特に第1章を)ご一読のうえ、ご参加くださるよう、お願いします。

福島子ども支援・八王子 / 原子力市民委員会 共催

助成 2013年度パルシステム東京市民活動助成基金

●福島子ども支援・八王子（ふくはち）とは

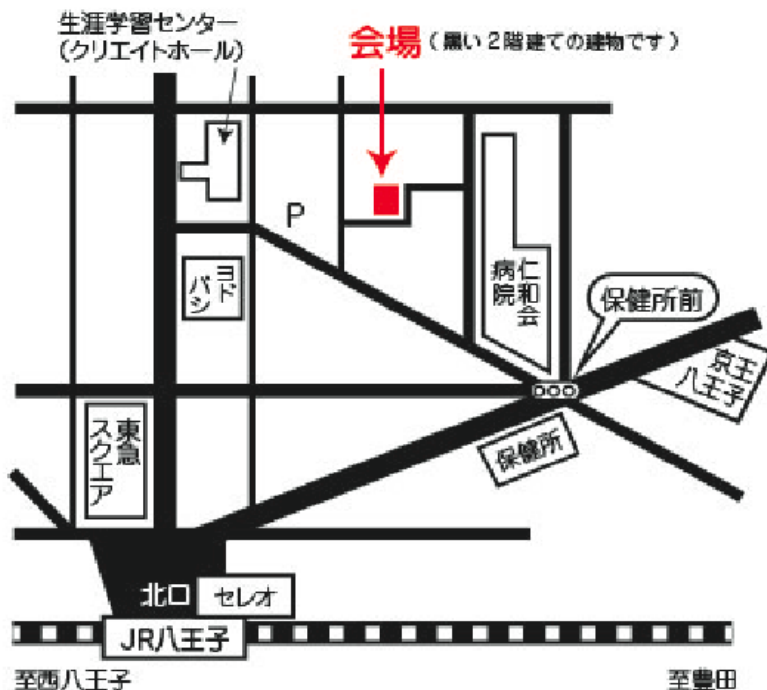
<http://blog.goo.ne.jp/hukuhachi8>

八王子に住む20代～80代の人たちが呼びかけて、福島の親子を招いての交流合宿を、2012年春から4回実施してきました。「ふくはち」には地域の農家や栄養士、俳優や子育て中のお母さん、様々な分野から協力したいという人が参加しています。これからも福島の方々との交流を続けながら、八王子の地域づくり、ネットワークづくりを続けていきたいと考えています。

●原子力市民委員会とは

<http://www.ccneJapan.com/>

脱原発社会づくりのために必要な情報収集・分析・発信を行う市民のシンクタンクを作り、幅広い意見をもつ人々による議論ができる「場」をつくるために2013年4月から活動しています。現在2014年4月の政策大綱発表に向けて、現在市民からの意見募集、意見交換会の開催を広く呼びかけています。 座長：船橋晴俊（法政大学教授）



《会場地図 アミダステーション》

八王子市東町3-4
八王子駅・京王八王子駅から徒歩5分

《問合せ先》

huku8-owner@yahoo.co.jp
070-6631-4593 (宮元)

福島子ども支援・八王子
ブログ

<http://blog.goo.ne.jp/hukuhachi8>